東陶器

１１月号
令和８年１１月１日
堺市立東陶器小学校
ＴＥＬ ２３６－００３６
ＦＡＸ ２３６－００２０

「自分大好き　友だち大好き　学校大好き」

ー連合運動会（行事）を通して、豊かな心、健やかな体を育てるー

校長　渡邉　耕太

１０月１５日、６年生が出場した連合運動会では、こどもたちのがんばりですばらしい成績をあげることができました。綱引きでは、出場３チームのうち、２チームが優勝、１チームが準優勝（これも決勝で東陶器Ｂチームとｃチームが対戦してという結果）。１０月１９日の全校朝会ではトリプル優勝として表彰をしました。全員が表彰状を獲得するというすばらしい結果を得ました。

綱引きの結果はすばらしいものですが、練習等、途中経過で考えると、最初からうまくいっていたわけではありません。昨年度ダブル優勝した先輩からの思いや、綱引きの難しさ、引き方への不安など多くの葛藤のなかで、こどもたちは考えながら取り組みました。うまくいかなかった練習後の休み時間にも、クラス関係なく、廊下で集まり、今の自分たちにたりないことや、思いをぶつけあい、「勝ちたい」「一致団結したい」と伝え続け、自分たちの気持ちを高めていくなかで、大きく自立に進んでいく様子がみられました。そのような成長過程を経ての成果でした。

また、個人種目でもある１００ｍ走、５０ｍハードル、走り幅跳び、ソフトボール投げ、４００ｍリレーでも多くのこどもたちが入賞や自己記録を更新しました。個人種目も最初からよいタイムなどが出ていたわけではありません。一人ひとりが自分の今の実力を確認しながら、0.１秒でも速く、１㎝でも遠くへという今の自身を超えるという目標を持ちながら、練習を続けてきたことが成果に表れました。当日、よい結果が出て涙したこども、記録としては思うような結果が出ずに悔し涙を流していたこどもがいました。これも、「**自分の限界に、最後まであきらめずに粘り強く挑んだ**」からこその本気の姿であると考えます。

本番の２日前には、全校児童が運動場に集まり、「壮行会」を実施してくれました。各種目の模範演技などを通して、１～５生からの歓声を聞きながら、東陶器小学校の代表として、そしてその**誇り**をもちながら連合運動会に参加することを自覚して、当日を迎えました。

連合運動会の振り返りとして、担任が次のように６年生に語っていました。

「これまで練習などを積み重ね、今日は、誰もが最後まであきらめずに挑んだことがすばらしかった。そして、そのことは自信となり、卒業式でも神々しく歩くことができる一つになる。また、この連合運動会について、次の６年への東陶器小学校の誇りとしてのバトンを堂々と渡せることができるすばらしい６年生であることは、先生はとてもうれしく思う。」

連合運動会を通して、こども一人ひとりが、しっかりと練習や準備を行うことの大事さ、当日は今の自分の全力を出し切ること、自分は一人ではなく多くの人に応援してもらっているという実感、チームが一体になることで一人では成し遂げられないことも集団で取り組むことでとてつもない力を発揮することができること、連合運動会で感じた思いなどを次の６年に引き継ぐという６年生としての自覚などを感じられたことと思います。

行事はイベントで単に終わらせるのではなく、こども一人ひとりの成長のためにあり、そして次につなげることで、東陶器小学校の伝統がつくられているのだと確信した連合運動会でした。


壮行会の様子


400ｍリレー応援

人の話を聞くときには

写真①②は１年の特別活動の時間の様子です。こども一人ひとりが「おひさまマーク」「ひまわりマーク」を裏表にそれぞれかきました。全員に顔をふせさせ、「おひさまマーク」を掲げるこどもを教員がこそっとそのこどものみに伝えます。その後、顔をあげたこどもたちは、「おひさまマーク」を掲げているこどもをさがすという取組をしました。この取組などを繰り返し、話をする人の方を向くことの大事さ、話を聞いてもらえるうれしさなどを伝えていく取組です。

写真③は６年の外国語の授業の様子です。「What food do monkeys eat？」「Monkeys eat bananas」などと動物が食べる食べ物について英語で学習しているところですが、友だちの発言に対して、英語での反応である「Me,too.」「I see.」「Oh. wow」「Wonderful」「Really?」などを６年生のこどもたちはじょうずに表現していました。

人が話をしているときに、その人の方を向く、うなずく、質問するなどの態度は、さらなるコミュニケーションが図られ、信頼関係が深められることにつながります。


写真①


写真②


写真③

１１　月　の　行　事　予　定

２	月	連合音楽会壮行会（５限）
３	火	文化の日（休日）
４	水	クラブ活動（５限）　Ａ５下校 14:50 ごろ
５	木	５年連合音楽会（午後の部）　ＰＴＡ役員会 19:00～
７	土	**土曜参観（２、３限）**　Ａ３下校 11:30 ごろ ※代休は 13 日（金）です。9 日（月）は授業を行います。
１１	水	６年修学旅行（宗陶苑・名古屋港水族館）Ａ４下校 13:45 ごろ
１２	木	６年修学旅行（長島スパーランド） ５年ＣＡＰ（１～４限）　４年出前授業（５・６限）
１３	金	**土曜参観代休**
１７	火	校内作品展（５限）
１８	水	Ａ５下校 14:50 ごろ
１９	木	２年研究授業　Ｓ４下校 13:15 ごろ　２-４は下校 14:35 ごろ
２３	月	勤労感謝の日（休日）
２５	水	初研　Ｓ４下校 13：15 ごろ （4－3 は初研の研究授業のため、下校 15 時ごろ）
２６	木	Ｓ６下校 15：30 ごろ

教育目標　○よく考え　主体的に活動する　心豊かな子の育成

教職員像　○自分大好き　○友だち大好き　○学校大好き
子ども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員

子ども像　○笑顔で登校し、笑顔で下校する子ども
○感謝の気持ちを言葉で伝えられる子ども

・12月の主な行事

○１０日（木）～１５日（火）
個人懇談
（S4 下校 13：15 ごろ）

○１６日（水）～２３日（水）
A4　下校 13:45 ごろ

○２４日（木）
２学期終業式
一斉下校指導
A3　下校 11：30 ごろ

※予定は変更することがあります

5年生が11月5日の連合音楽会に出演します

１１月５日のフェニーチェ堺で開催される連合音楽会（堺市内の小学校が参加し、日頃の音楽学習の成果を発表する行事。音楽を通じて豊かな情操を育み、表現力や鑑賞力を高めることが目的）に、５年生が出演します。

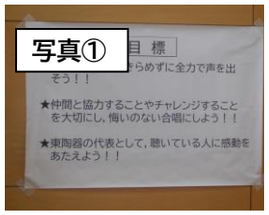
これまでの各クラスでの授業から、１０月１６日以降は、体育館で連合音楽会に向けての練習に励んでいます。

連合音楽会に向けた５年生の取組も、前ページで書いたとおり、行事をイベントで終わらせるのではなく、一人ひとりの成長のためにという考えで進めています。

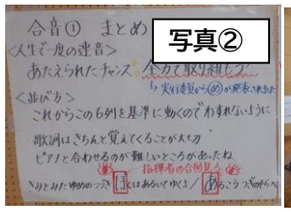
１回目の合同練習が始まるまでに、こどもたちが立候補して結成した実行委員会を開き、連合音楽会の目標を考えました。体育館の前方に掲示して、いつでも意識できるようにしています。（写真①）

- 一人ひとりがあきらめずに全力で声を出そう！
- 仲間と協力することやチャレンジすることを大切にし、悔いのない音楽会にしよう！！
- 東陶器の代表として、聴いている人に感動を与えよう！！

またこのめあての他にも毎時間のめあてをもちます。それは前回までの授業のふりかえりから実行委員が自分たちで考えています。



写真①


写真②


写真③

また毎回の練習後に、授業の中で学んだ歌い方のポイントや工夫の仕方を模造紙にまとめ、体育館横に掲示し、学んだことが積み重なっていくように工夫しています。（写真②）

写真③は４回目の練習の様子（１０月２３日）です。前日には、息継ぎをするタイミングをそろえることで声がまとまって聴こえるようになったことを一人ひとりが意識することで、これまでの歌と全く違って良くなったと実感するこどもがたくさんいました。２３日には、アルトとソプラノのそれぞれの音を聴き合うことでお互いのことを意識しながら歌い、音の重なりを実感するこどもがたくさんいました。

その後の練習でも、９月の臨海学習では「みんなのなかに隠れて、自分が前にでなくても大丈夫」という学年集団としての課題もあったので、連合音楽会では「みんな歌っているので、自分ひとりぐらい適当に歌ってもわからないだろう」という気持ちを克服するために、「協力するとはどういうことか？」について考え、集団としての高まりを感じられるよう取り組んでいます。

５年生の合唱について、１１月５日のフェニーチェでの鑑賞はできないこともあり、１１月７日の土曜参観の際に体育館で聴いていただけるように予定しています。５年生のこどもたちの成長した姿をご覧いただければ幸いです。

豊かな体験、豊かな交流－ほんものに学ぶこと－

５年生は、総合的な学習の時間に「稲作」について学習しています。田植えをした稲がいよいよ収穫の時期を迎え、１０月１５日（木）に稲刈り体験をさせていただきました。鎌で刈り取る作業は、背中を曲げながらの大変な作業ですが、こどもたちは楽しそうに取り組んでいました。昔は機械もなく、人の手でていねいに作業していたことを体感しました。

４年生は、総合的な学習の時間に「福祉」について学習しています。まず、キャップハンディ体験を通して、障がいのある方が日常生活で感じる不便さや困難さを体感し、相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。その後、地域の方々を笑顔にするために、自分たちにできることを考え、「よつばルーム・こども園」「ワクワククラブ」「老人ホーム・インク」の３つのグループに分かれて活動しています。それぞれのグループで、子どもや高齢者、障がいのある方との交流を通して、相手のことを思いやり、自分たちにできることを考えながら、地域の方々とのつながりを深めています。

３年生は、総合的な学習の時間に、地域の歴史が深い神社や寺、だんぢりの文化、コミュニティなどの「東陶器校区のじまん」を学習しています。まずは、校区探検を通して、この地域に住んでいながらも、「知っているようで知らなかった自分の町のよさ」を知ることから、学習が始まりました。東陶器小学校の教育目標でもある「自分大好き・友だち大好き・学校大好き」に加えた「地域大好き」をめざした「地域大好きプロジェクト」に取り組んでいます。「陶荒田・愛宕の神社」「月輪寺」「だんぢり」「グランドゴルフ」の４つのグループに分かれて、実際に見学したり、体験したりしながら、それぞれのじまんをくわしく調べていっています。

２年生は、生活の時間に「町のすてきを見つけよう」をテーマに、町たんけんを行いました。グループに分かれて「ミカサ金属」「橘農園」「郵便局」「アイズ商会」「配水場」「ウエルシア」「交番」「たこ焼き蔵ら」を訪問し、お仕事の工夫や、大切にされている思いなどについてインタビューをしました。お客さんや、地域の方のために努力されている「町のすてき」がたくさんあることに気づくことができました。


５年


４年


３年


２年

上記のような取組を行なったり、地域の方などから直接お話を聞いたりすることで、教科書の学習では得られない生きた学びや地域への誇りをもつといった心を育成したいと考えています。

学校だより６月号でもお伝えさせていただきましたが、本校では、「こども自らが問いを立て、実社会の課題に挑戦し、生きる力を養う探究的な学び」の実現をめざしています。

地域の方々などからの上記のようなほんものから学べるお話や支援について、ご理解ご協力していただいていることがうれしいことです。こどもの成長のため、今後もご理解ご協力よろしくお願いします。

はとぶえ掲載作品の紹介

はとぶえ９月号が発刊されました。今回も、多くの応募の中から、本校のこどもの作品も詩（１年、２年、３年のこども各１名ずつの３人）、習字（６年のこども １ 人）の部で掲載されました。（佳作は名前のみの掲載です。）詩を紹介します。

たいいくさんかん
東陶器小学校一年
五十めえとるそう
たのしかったです
せんせいたち
こんなたいいくさんかん
つくってくれて
ありがとう
たのしかったよ

きょうだいげんか
東陶器小学校二年
きょうだいげんかが
おねえちゃんが
「へや入らんといて」
と言ってきた
入ろうとしたら
へやから出て一人でおこってる
でも
「おかしあげる」
と言ったら
「入っていい」
って言う

はやおき
東陶器小学校三年
いつもはやおきをしちゃう
いちどおきたらもうねれない
どうすればいいの？
何をしたらねれるの？
六じか六じ二十分ぐらいにおきちゃう
はやくて二じか三じ
七じまでねたい
どうしたら七じまでねれるの？
でも一ねんせいのときは七じに
おこされた
だから一ねんせいのときは
七じまでねれたのなんでなの？

○学校 HP について

学校の様子をブログでお知らせしています。
携帯，スマホでも御覧いただけます。